

第3 水生生物による河川水質調査

「水生生物による河川水質調査」とは、川にすむ肉眼で見ることのできる大きさの様々な生物（指標生物*）の生息状況を調べ、その結果から川の水質のきれいさや汚れ具合を知ろうとするもので、県では昭和59年から継続して取り組んでいます。

本市でも、昭和59年から水質保全意識の高揚と環境教育の一環として実施しており、現在は市内小中学校や地域団体等の協力で参加者も増え、定着している事業です。

平成18・19年度の結果を表36・37に示します。水質階級Ⅲという判定だった地点がありますが、生活雑排水や事業場排水の流入が汚濁の原因と考えられます。

表36 平成18年度 水生生物による水質調査実施状況

河川名	地点	水質階級	団体名
鷹生川	鷹生橋	I	日頃市中学校 (19人)
	日頃市農協前	〃	
盛川	坂本沢	〃	
	川内	〃	
	盛大橋下	〃	盛小学校 (37人)
立根川	ろくろ石橋付近	〃	猪川小学校 (71人)
	立根小学校前	〃	立根小学校環境委員会 (11人)
須崎川	商人橋下	〃	大船渡小学校 (54人)
	商人橋上流	〃	
	田中橋上流	〃	
	田中橋	〃	大船渡北小学校 (60人)
	明土橋付近	〃	
	商人橋付近	〃	
	射撃場跡	〃	須崎川清流化対策推進協議会 (80人)
	商人橋	〃	
	桜橋	〃	
久保橋	〃		
綾里川	上流	〃	綾里小学校 (37人)
	中流	〃	
	下流	Ⅲ	
浦浜川	あいのし付近	I	越喜来小学校 (22人)
甫嶺川	ログハウス	〃	甫嶺小学校 (22人)
	河口	〃	
	バス停付近	〃	
	学校付近	〃	
吉浜川	河口付近	〃	吉浜小学校 (17人)

(注) 水質階級 (Ⅰ～Ⅳ) は、Ⅰがきれいな状態、以降Ⅱ～Ⅳと階級値が上がるにつれ、汚濁が進んでいることを示す。

表 37 平成 19 年度 水生生物による水質調査実施状況

河川名	地点	水質階級	団体名
鷹生川	鷹生橋	I	日頃市中学校 (16人)
	日頃市農協前	〃	
盛川	坂本沢	〃	日頃市小学校 (29人)
	川内	〃	
	川岸	〃	
沢川	権現堂橋上流	〃	盛小 学 校 (80人)
立根川	市役所入口上流	〃	
立根川	ろくろ石橋付近	〃	猪川小学校 (66人)
	立根小学校前	〃	立根小学校 (13人)
須崎川	商人橋下	〃	大船渡小学校 (24人)
	商人橋上流	〃	
	田中橋上流	〃	大船渡北小学校 (46人)
	田中橋	〃	
	明土橋付近	〃	
	商人橋付近	〃	須崎川清流化対策推進協議会 (100人)
	射撃場跡	〃	
	商人橋	〃	
	桜橋	〃	
	田中橋上流	〃	
	田中橋	〃	
	綾里川	明土橋	〃
上流		〃	綾里小学校 (29人)
中流		〃	
下流	〃		
浦浜川	あいのはし付近	〃	越喜来小学校 (12人)
甫嶺川	上流	〃	甫嶺小学校 (22人)
	中流 1	〃	
	中流 2	〃	
	河口	〃	
吉浜川	河口付近	〃	吉浜小学校 (17人)

第4 エコライフ推進事業

1. 事業の目的

地域環境をめぐる状況は、おおむね良好に推移していますが、一部では、家庭からの生活雑排水や工場、事業場等からの産業排水による河川や海の汚濁、道路や公共空地へのごみのポイ捨てや廃棄物の不法投棄などの問題も生じてきています。

このため、本市では、昭和61年度から市民と行政が連携、協力し、これまでのライフスタイルを見直してよりよい地域環境づくりを目指す「快適なまちづくり実践活動推進事業」を実施しており、平成13年度からは更に省エネなどの内容を加えて発展させた「エコライフ推進事業」を実施しています。

実践地域では、各家庭単位で地球温暖化防止活動や水質汚濁防止活動、ごみの分別・減量化などの自主的活動を進め、市では、説明会・学習会を開催するとともに、アンケートを集計・分析することによりその成果を公表しています。

この事業を通じ、市民へのよりよい環境に対する意識啓発を図るとともに、その成果を市内全域に広げることを目的としています。

2. 実践地域

平成18・19年度における実践地域表38・39に示すとおりであり、市内各地区からそれぞれ1地域公民館を指定して実施しています。

表38 平成18年度 エコライフ推進事業実践地域

地区名	地域名	実施主体	実施期間	世帯数
盛町	愛宕町	同地域公民館	H18.10～H19.2	45
大船渡町	地ノ森一区	〃	〃	171
末崎町	碁石	〃	〃	108
赤崎町	宿	〃	〃	47
猪川町	大野	〃	〃	25
立根町	上手	〃	〃	44
日頃市町	宿	〃	〃	69
三陸町綾里	石浜	〃	〃	52
三陸町越喜来	崎浜	〃	〃	339
三陸町吉浜	根白	〃	〃	84
合計	10地域		4ヶ月間	984

表39 平成19年度 エコライフ推進事業実践地域

地区名	地域名	実施主体	実施期間	世帯数
盛町	八幡町	同地域公民館	H19.10～H20.2	216
大船渡町	浜町	〃	〃	93
末崎町	三十刈	〃	〃	75
赤崎町	合足	〃	〃	20
猪川町	上中井	〃	〃	73
立根町	下欠	〃	〃	151
日頃市町	川内	〃	〃	43
三陸町綾里	田浜	〃	〃	74
三陸町越喜来	浦浜仲	〃	〃	130
三陸町吉浜	千歳	〃	〃	40
合計	9地域		4ヶ月間	915

3. 実践活動実施項目

(1) 居間、子ども部屋

- ① 照明器具などのスイッチをこまめに消す。
- ② テレビ、ラジオなどを使わないときは、主電源を切る。
- ③ 使用していない家電製品のプラグをコンセントから抜く。(主電源を切っても待機電力を消費しています。)
- ④ 暖房の温度設定は、控えめにする。
- ⑤ 部屋を片付けてから掃除機をかける。

(2) 台 所

- ① 冷蔵庫内は、詰め過ぎない。
- ② 食器洗いのお湯の温度を低めに設定する。
- ③ ガスコンロの火はなべ底からはみ出さないようにする。(熱効率が悪い。)
- ④ ガスコンロは効果的に使う。(沸かしすぎ、煮すぎに気をつける。)
- ⑤ 料理は食べ残しがないように作る。
- ⑥ 食器を洗うときは水を出しっぱなしにしない。

(3) 風呂・洗面所

- ① 風呂は沸かしすぎない。(水や燃料の無駄をなくす。)
- ② シャワーの時はお湯を出しっぱなしにしない。
- ③ 家族が続けて風呂に入る。
- ④ 風呂の残り湯は洗濯や風呂掃除に利用する。
- ⑤ 洗濯はまとめてする。

(4) 交 通

- ① タイヤの空気圧は適正にする。(燃費が向上します。)
- ② 駐停車する時はエンジンをかけっぱなしにしない。
- ③ 無駄な荷物を積んだままにしない。
- ④ 制限速度を守り、急発進や急加速をしない。
- ⑤ できるだけバスや自転車を利用する。

(5) リサイクル・ごみ減量

- ① 空きびん、空き缶、新聞、雑誌、ダンボールなどの資源ごみは、集団資源回収に出す。
- ② 生ごみは水をよく切って出す。
- ③ 排水口にネットをつけ、調理くずを流さない。
- ④ 牛乳パック、食品トレーなどの店頭回収に協力する。

(6) 買 い 物

- ① 買い物袋を持参する。
- ② エコマーク商品やリサイクル商品を買うようにする。
- ③ 必要最低限の包装にする。
- ④ 使い捨て商品の使用を控える。
- ⑤ 詰め替えのできる商品を買うようにする。